

青森県議会議員

山田 さとる

県政レポート

2009年 冬号

山田さとる連合後援会 | 八戸市大字新井田字山道 3-6
TEL.0178-25-6108 / FAX.0178-25-6168



ごあいさつ

日頃はお世話になっています。皆様に県政の場にご送って頂きまして、早いもので1年半が経過します。この間、皆様方からのさまざまなお声をお聞きし、県民の暮らしの向上に向けて、議会活動に取り組んできました。暮らしへの不安が広がる昨今、青森県を取り巻く環境も厳しさを増しています。このような中で今年には文教公安委員会に所属し特に教育問題や治安・交通安全問題などに強く取り組んできました。これからの時代を支えていくための「人づくり」や、安全な地域に向けた取り組みなど県民の声が届く県政に向けてこれからも力を尽くしていきたいと思っております。皆様方のご指導、ご支援をお願い致します。

県議会ではどのような事をしているの？

県議会というと何か「固い」とか「生活と関係ない」と思う人もいるかと思いますが、そんな事はありません。県議会は県内に関わる事や例えば八戸市や三八地域など地域住民の生活や暮らしにかかる事などについて賛成や反対の議決をする機関です。簡単に言いますと議決を行い賛成が多ければ可決となり、また反対が多ければ否決という事を決めます。たくさん議案や事業の中で本当に県民生活のために必要なのかどうか、県が行わなくてはならないものなのか等をチェックするのが大きな役割です。ちなみに最近の県議会で審議された八戸市民にも関わる主なものは次の通りです。

- ドクターヘリ運行にかかわるヘリポート整備の補助経費
- 青少年への特殊な刃物に対するの条例規制
- 企業誘致のための補助金
- 県立施設(屋内スケート場など)の整備のあり方

県議会で話し合われているものは、県内が対象なので八戸市に関わるものばかりではありません。八戸市と関わりがあるものでもあまり身近に感じないものも少なくありません。そこでどうしても県議会といますと関心も薄れがちになりますが、なるべく身近な問題をわかりやすく身近に感じてもらうようにお伝えするように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

〇〇計画というと難しく感じる方もいるかと思いますが、簡単に言いますと、この基本計画は「暮らしやすい青森県をどのようにしていくのか」の方針を決めるものです。そして方針に沿って5年間で取り組みを決めていくというものです。そこで計画をつくる上で大切なのが「わかりやすく伝える事」と「重点化の視点」だと思います。そういった事から今回の「青森県基本計画」についてどのような考え方で進めようとしているのかについて簡単に伝え、一緒に考えてみたいと思います。



青森県基本計画

平成21年から5年間の取り組みの柱

時代認識について

「暮らしやすさで負けない地域」に向けて21世紀が心の豊かさ・健康・環境など生活を志向する時代との考えとして「生活創造社会」を目指す事としています。

目指す社会について

20年後の2030年に経済基盤の拡大による輝ける社会、また命・健康・環境などの暮らしやすさが守られる社会を目指して5年間の取り組みを行うとしています。

課題について

「生活創造社会」を経済面から支える産業・雇用分野が最重要課題としてある中で暮らしやすい社会の実現へ向けては生活を支える経済的な基盤が大切と考え、それら経済基盤をいわゆる「生業（なりわい）」という言葉で表現し、なりわいづくりを進める事としています。

計画をつくるにあたって県では時代をどのようにとらえているのかについて

21世紀はどのような時代か？青森県では心の豊かさ・命・健康・環境など「生活」を志向する時代になるとの認識のもと、生活の質を大事にする「生活創造社会」の実現、いわゆる「暮らしやすい社会」を目指す事としています。

青森県を取り巻く課題について

県内は人口減少が急速に進んでいます。なぜ減少しているのか、それは主に若年者の県外流出が進んでいるからです。では、なぜ県外流出が進んでしまうのか、さまざまな理由が考えられますが、「働く環境が乏しい」「子育てしやすい環境が整っていない」などが挙げられます。県内全体の課題として「生活」を経済面から支える産業・雇用分野が最重要課題となっています。

計画で目指す姿について

今から20年後の2030年の青森県の明るい姿を目指して今年からの5年間で雇用機会の拡大によって県外流出に一定の歯止めをかける。

このような考えのもとに、計画を進めようとしています。2つ問題があるのではないかと私は思います。1つ目は「わかりやすさ」です。行政の計画とすると、何か難しい言葉が並んでいてわかりづらそうというイメージを持つ人も多いと思います。その意味では今回の計画も例えば県民所得を10年後に1.5倍にするという目標が掲げられているのですが、1.5倍というと手取り収入が1.5倍に増えると感じる人も少なくないと思います。県という県民所得とは実際の手取り収入でなく、「就業率（県人口に占める就業状況）」と「労働生産性（就業人口に占める県内総生産）」を掛け合わせた行政上の数字の事で実際の所得が大幅に増えるという訳ではない事から県民の感覚からすると誤解を受けるような表現に感じていると思います。ですから経済指標としての示し方としては例えば就業者数を増やす事であったり、生産額及び販売額を増やす現実的にわかりやすい表現で示すべきだと思います。また県民の生活を経済面から支える基盤を「なりわい」という表現を使っているんですが、このような言葉も通常の感覚では、なじまないのではないかと、もっと普通に使用する生活基盤的な言葉など県民に伝わる言葉を選択していく姿勢が必要だと思います。こういった事はあまり新聞では取り上げないで、気づきませんが、議会では県民目線で県民に伝わる表現など小さな問題かも知れませんが、こういった事も話し合われています。本計画を詳しく見たい方は「青森県庁ホームページ」や県の広報などをご覧下さい。



政治とはどういう事をしているの？

まず普段、生活していて政治について皆さんは、どのような思いやイメージをもっているのでしょうか？政治というと「何だか難しそう」とか「身近に感じない」など思う人が多いのではないかと思います。そこで皆さんに政治を身近に感じてもらうために「政治」について一緒に考えてみたいと思います。私たちは、家庭や仕事、また地域など身の回りのいろいろな関わりの中で生活していますが、生活を営んでいく上では社会や行政に対して「こういう事をしてほしいのに」とか「ああいう風であ

ればいいのに」などいろいろと生活上、感じる事が出てくると思います。

- ◎労働環境の対策に力を入れて欲しい
- ◎働いていても子どもを預けられる対策に力を入れて欲しい
- ◎一人ひとりに目が行き届く教育対策に力を入れて欲しい
- ◎税金の使い方の改革に力を入れて欲しい
- ◎子どもが楽しめる公園整備に力を入れて欲しい

家庭を持ち、そして子育てなども経験したり、また家族が医療や介護を必要とした時など「〇〇であればいいな」と少なからず市役所や県庁への不満や疑問を感じてくると思います。このような事に対しての実現もそうですし、税金を使ってまちづくりをどのように行うのか、またどのような事を実行していくのかを決めていくのがまさに「政治」の役割です。「県議会」は県内の各市町村や三八や上北などブロックごとの振興に対してどのように支援を行うのかなどを決める機関です。ですから生活を良く変えていくにも「政治」ですし、また変えていかないのも、「政治」ですので議員や議会について「どういう考えを持っているのか」「ど

ういう事が行われているのか」など自分たちの生活に関わる問題として一人一人がしっかりと関心を持って見ていく姿勢が大切です。実際に八戸から県議会を見に行くには、遠いので現実的には難しいと思いますので、新聞掲載やインターネット中継、また議員のホームページなどで情報を得ていく事に心がけて頂ければと思います。

■青森県庁ホームページ
<http://www.pref.aomori.lg.jp/>

■山田さとるホームページ
<http://www.yamadasatoru.com>





街角からも声を届けています

まちかどスピーチ(街頭活動)

県や県議会で話し合われているものは八戸市に関わる事ばかりではありませんのでどうしても関心が薄くなりがちです。新聞でも取り上げる事が少ないので県議会ではどういう事を行っているのかわからないという人も多いと思います。

そこで県政の課題や県議会で発言した内容を中心に、タイムリーにわかりやすく、お伝えしたいと思いき情報発信の一環として昨年1月から市内随所で毎朝、街頭活動を行っています。交差点付近ですから車で通行する方や歩行者の方などにゆっくりとお話を聞いて頂くのは難しい

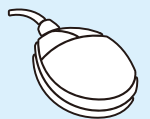
ですが、少しでもお耳に入れて頂く事で県の課題に関心を持つて頂くとともに、政治に対しても身近に感じて頂く機会になればとの思いで行っています。一般的に街頭活動は党活動として自民党や民主党などの政党が街宣車を活用して行っているものばかりでありますが、議員個人としても自身の考えや、活動について議会報告として積極的に発信する姿勢が大切と考えますし、これからも情報発信として街頭活動に努めていきたいと思っております。街角でお会いした際にはご意見などを寄せて頂ければ幸いです。



ホームページでも情報発信をしています!

<http://www.yamadasatoru.com>

山田さとる公式ホームページでも、情報を発信しています。視察レポートや、ニュース・ブログを通して、日々の活動のご案内や、毎朝の「まちかどスピーチ」のスケジュールや、県政報告会の開催日等のご案内など、最新情報を掲載していますので、是非ご覧ください。



山田さとるのプロフィール

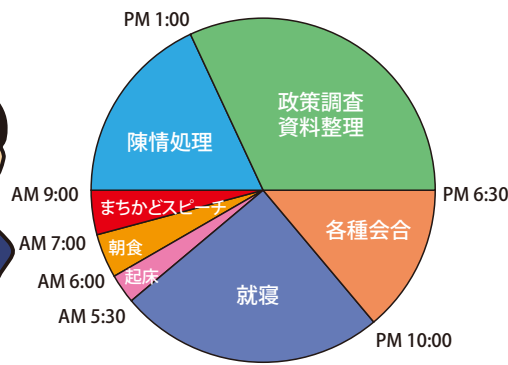
- 昭和45年 2月20日生まれ
新井田小、大館中、卒業
- 昭和63年 青森県立八戸南高等学校卒業
- 平成5年 日本大学農獣医学部拓植学科卒業
農林水産大臣 田名部匡省 秘書
- 平成7年 八戸市議会議員初当選
- 平成11年 八戸市議会議員当選(2期目)
- 平成15年 青森県議会議員初当選
- 平成19年 青森県議会議員当選

- 青森県議会会派“大心会”所属
- 青森県議会文教公安委員会委員
- 北東北若手議員の会会長
- 青森ウエイトリフティング協会会長
- 青森県アームレスリング連盟会長
- 日本大学八戸校門会顧問
- 県立八戸南高等学校同窓会副会長



山田さとるの一日

山田さとるの平均的な一日です。



AM 5:30	起床
AM 6:00	朝食
AM 7:00	県政まちかどスピーチ (街頭活動)
AM 9:00	陳情処理
PM 1:00	政策調査・資料整理
PM 6:30	各種会合
PM 10:00	就寝